

オープン CAE 勉強会@富山の活動報告

中川 慎二¹ 中山 勝之^{2†}

¹ 富山県立大学 ² オープン CAE 勉強会@富山

Activity Report of Open CAE Study Group @ Toyama

Shinji NAKAGAWA* Katsuyuki NAKAYAMA**†

*Toyama Prefectural Univ. **Open CAE Study Group @ Toyama

Keywords: CAE, Community, Education

1. はじめに

オープン CAE 勉強会@富山は 2012 年からほぼ月 1 回開催しており、2018 年 11 月までに 68 回実施している。参加者構成は地域別では富山、石川、福井の近隣県だけでなく関東、東海、関西からもある。所属別では大学教員、学生、企業であり他地域の勉強会よりも学生の比率が大きいことが特徴として挙げられる。本報は、近年の勉強会で行っている取り組みについて紹介する。

2. 活動報告

勉強会は前半ミニ講習会、後半参加者報告で構成されている。ミニ講習会は OpenFOAM 初心者講習や、ParaView, Python を使用した可視化講習を中心に行っている。参加者報告での話題は OpenFOAM を使用した事例、課題を中心となっている。

近年の特徴としては、勉強会参加からの活動の広がりが挙げられる。例えば、勉強会の発表された内容をベースに、オープン CAE シンポジウムでの講演発表を行っている。2017 年のシンポジウムでは、高大 (高校-大学) 連携で取り組んだテーマを高校生が講演発表を行ったが、その進捗報告の場として勉強会に参加している学生が利用していた。さらにこのテーマに取り組んでいた高校生が大学生になって勉強会に参加しており、年代層の裾野が拡大している。

また、勉強会参加者からの資格取得者も出てきており、2017 年は本勉強会に参加をきっかけに計算力学技術者認定講習会を受講し、計算力学技術者試験熱流体初級の取得者を 2 名出すことができた。2018 年の新たな取り組みとして、参加者の CAE の基本的な知識を勉強、さらに社会人・学生の資格取得の後押しを目的に計算力学技術者試験熱流体 2 級対策勉強会を開催している。試験対策勉強会参加者の中には 2018 年度の受験者・非受験者が含まれているが、2019 年度に向けて受験者数を増やしていきたい。

[†] E-mail address of corresponding author: nak954@gmail.com